都市自治体と都道府県の関係性に関する研究会

論点メモ（案）

論点１　人口減少社会における都市自治体の位置づけと役割

（１）都市自治体の本質的要素

・自治に関する視点（市民自治、コミュニティなど）

・行政に関する視点（都市自治体が特に主体性が発揮される分野など）

・歴史や成り立ちに基づく都市自治体としての本質（“シビックプライド”を支えるもの）

（２）「都市自治体」の多様化（人口構造、指定都市・中核市など）

（３）地方分権改革における位置づけ（総合行政主体としての都市自治体など）

（４）都市自治体における事務処理の現状と課題（権限移譲と事務返上）

論点２　人口減少社会における都道府県の位置づけと役割

（１）地方自治法上の機能の再検討

・広域的機能

・連絡調整機能

・補完的機能　　など

（２）市町村に対する「支援」の現状と課題

・財政面での支援

・人材面での支援

・専門的な知見や技術に関する支援　　など

（３）都道府県に求められる機能と役割

論点３　都市自治体と都道府県の多様な関係性

（１）行政的な関係性

・都道府県「市町村課」と都市自治体

・都市自治体所管課と都道府県所管課

・都道府県の出先機関

・職員の人事交流、研修　　など

（２）法的な関係性

・市町村条例と都道府県条例、立法権分有論

・都道府県による関与、係争処理、国の「従うべき基準」との関係

・条例による事務処理特例　　など

（３）政治的な関係性

・市長と知事の関係

・議会、議員間の関係　　など

論点４　市町村による広域連携と都道府県による補完・支援の考え方

（１）全権限性、補完性の原理、近接性の原理

（２）民主的統制の可能性

（３）合意形成・調整コスト

（４）広域連携への都道府県の参画